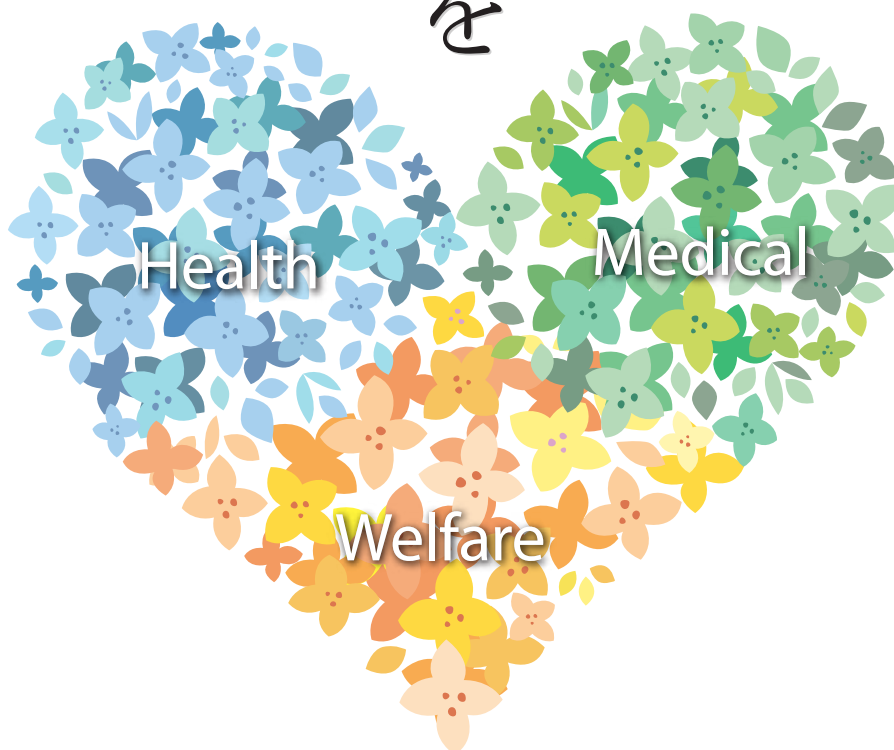


限りなく、人にやさしい

「保健」と「医療」と「福祉」を

医療・看護・介護・リハビリまでトータルにサポートするほか、  
地域包括ケアシステムの構築をめざし、  
在宅医療と介護の連携を推進します。



## 財団の設立趣旨

わが国における高齢化社会の進行は、世界にも例を見ない速度であり、これに伴い、ねたきりや\*認知症高齢者等への対応が急がれています。

従来、介護サービスを必要とする高齢者や障害者の対応策としては、施設収容が中心に考えられてきましたが、これらの人々にとって社会生活から隔てられることなく、これまでと同様住み慣れた地域社会で、近隣の人々とふれあいや助け合いの中で介護を受けながら生活していくことの意義や大切さが認識されつつあります。

しかし、一方でかつて高齢者や障害者を支えてきた家庭や地域社会の相互扶助の機能が核家族化や価値観の多様化により低下してきています。このため、医療と福祉の連携による在宅ケアに関する研究及び実践が緊急の課題となってきました。

以上の点から、地域医療を担う「神戸市医師会」、先駆的福祉事業の開発や実践を行っている「こうべ市民福祉振興協会」並びに「神戸市」の3者が協力して、「財団法人神戸在宅ケア研究所」が設立されました。

当研究所は、それぞれの知恵と創意を結集し、在宅あるいは地域社会における高齢者等を対象とするケアのあり方やシステムについて、調査研究を行うとともに在宅ケア事業や施設運営などを実践することにより、神戸市民の福祉の向上に寄与するものであります。

(※当初の痴呆性老人等という表現は、認知症高齢者等に変更しています)

(昭和62年7月 財団法人設立趣意書)

## 経緯

設立当時、高齢化社会の急速な進展が見られる中で、「施設」から「在宅」へ、「ケア」「リハビリテーション」の重視へなどの視点に立った事業を進めてまいりました。

しかし、本格的な超高齢社会を迎えるにあたり、2025年を目途に在宅医療と介護の連携及び推進を積極的に進めていくことがますます重要となり、当財団においても、神戸市における地域包括ケアシステム構築の推進団体として、新たな事業に取り組んでいくことになりました。

このため、平成28年4月1日、財団名を「一般財団法人神戸在宅ケア研究所」から今後の事業展開が分かりやすく、明確になる名称として「一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団」に変更いたしました。



# 事業活動の概要

## 1 神戸リハビリテーション病院

一人でも多くの患者さんが自立し、住み慣れた地域や自宅に帰って心豊かな生活が送れるよう、医師・看護師、セラピスト、介護職、ソーシャルワーカー等のチーム医療により、在宅復帰を目指しています。

## 2 介護老人保健施設 リハ・神戸

心身両面で生活機能が低下し、自立生活が困難になった高齢者等の方に対して、医師・看護師・セラピスト・介護職・ケアマネジャー・管理栄養士・支援相談員等がチームとなり、相互に協力・連携を図りつつ、利用者さんに応じた適切なリハビリテーション訓練や日常生活機能等の維持・向上のための支援を行っています。入所・ショートステイ・デイケア（通所リハビリ）・訪問リハビリ（しあわせの村の近隣地域が対象）の利用形態があり、これらのサービスの提供を通して、身近な老健として利用者さんの在宅復帰・在宅療養生活を支援します。

## 3 訪問看護ステーション

ご家庭において寝たきりの方や看護、リハビリテーションが必要な方を対象に看護師やセラピストが定期的に訪問し、住み慣れた地域社会で、こころよい生活が送れるよう、予防看護も含め各種サービスを行います。

## 4 在宅介護支援事業

介護予防を含め、高齢者や介護の必要な方が身近にある医療・保健・福祉サービスを受けられるよう、各種相談に応じる「あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）」をはじめ、介護保険上の各種サービス提供が受けられるよう、利用者の依頼に基づき諸手続き、相談に応じる「えがおの窓口（居宅介護支援事業）」を運営します。

## 5 在宅医療・介護連携支援事業

- ・ 認知症初期集中支援事業  
認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を目的として、市から委託を受けて認知症の方やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援事業を全市で実施しています。
- ・ こうべオレンジダイヤル  
市民が気軽に認知症について相談いただくため、市から委託を受けて平成31年4月1日から認知症に関する総合電話相談窓口として「こうべオレンジダイヤル」を開設。認知症神戸モデルをはじめ市の認知症施策の紹介や、認知症について専門職が職種に応じてできる専門相談、福祉相談、生活相談など認知症に関する市民からのさまざまな相談を受け付けています。
- ・ 医療介護サポートセンター（在宅医療・介護連携支援センター）  
在宅医療と介護の連携を支援するため、市から委託を受けて医療介護サポートセンターに配置するコーディネーターの確保、養成、研修等の業務を行っています。

## 6 住宅改修助成事業

高齢者や障害者の方が住み慣れた自宅で安全に、快適に暮らせるよう、作業療法士や建築士などの専門チームが、対象者の方のご自宅を訪問し、身体状況に応じた住宅改修計画を作成し、工事費用の一部を支援します。

# 神戸リハビリテーション病院

神戸リハビリテーション病院は、一人でも多くの患者さんが自立し、あるいは住み慣れた地域や自宅に帰って心豊かな生活が送れるよう、医療の質を高め、医学的、技術的な進歩発展に寄与します。同時に、地域の医療・保健・福祉機関と緊密に連携して、リハビリテーションが究極の目標とする「高齢者や障害者の全人間的権利」を回復し、尊厳を取り戻して、主体的に生きいきと暮らせる、安全で豊かな社会の実現を目指します。



病院外観

## ▶ 県内最大の回復期リハビリテーション病棟を有する 専門病院

県内最大の180床。約150名のセラピストをはじめ医師、看護師、介護職員等がチームでリハビリテーションを実施。神戸市の外郭団体である一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団が運営。介護老人保健施設、訪問看護事業、居宅介護支援事業なども実施し、豊富な資源を活かし医療・看護・介護・リハビリまでトータルにサポート。

## ▶ 土・日曜・祝日、365日レベルを変えずに 目標に沿ったリハビリテーション訓練を実施

これまでの日常生活に近づけることを目標にリハビリテーション訓練を実施。

## ▶ 退院後も充実したフォローアップ

退院前自宅訪問、住宅改修、屋外訓練、外来リハを実施。訪問リハも実施予定。

## ▶ 充実した院内外来診療で入院中も安心

入院患者を対象に定期的に皮膚科、耳鼻科、精神科、眼科、泌尿器科、歯科などの診療が受けられます。(歯科を除き無料) 必要な際に診察を受けることができます。

## ▶ しあわせの村内「病院前バス停」に直結。 市内各地からも便利なロケーション

三宮からバスで30分、神戸電鉄西鈴蘭台駅からバスで10分。



## 施設概要

開 院 昭和63年6月1日

所 在 地 神戸市北区しあわせの村1番18号  
しあわせの村内 ☎078-743-8200

施設承認 回復期リハビリテーション病棟入院科Ⅰ・Ⅱ  
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)  
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)  
入院時食事療養(Ⅰ)

病 床 数 180床(全床回復期リハビリテーション病棟)

診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、放射線科、歯科

回復期病棟とは 血管疾患や骨折などの急性期病院で治療を受けて、病状が安定し始めた発症から1~2ヵ月後の状態を回復期と言います。この時期に集中的なリハビリテーションを提供することで、低下した能力を再び獲得するための病棟を回復期リハビリテーション病棟と言います。

入院案内 入院を希望される方は、総合支援相談室でご相談ください。  
(TEL:078-743-8200(代表)、平日9:00~17:30受付)



リハビリ訓練の様子



病棟スタッフの皆さん



患者さんを笑顔でサポート

# 介護老人保健施設 リハ・神戸

介護老人保健施設 リハ・神戸は、疾病等による身体機能の低下や障害等を契機に、自立生活が難しくなった高齢者等の方に、各種のリハビリテーションやケアを提供することにより、生活意欲を引き出し、生活の再構築を図ることを理念としています。豊かな環境の中で、医療的管理の下に看護・介護・リハビリテーションを一体的に提供して日常生活の自立を促進し、在宅復帰、在宅療養生活を支援します。



施設外観



恵まれた自然環境を活かした散策会



しあわせの村温泉と同じ泉質の浴場



利用者さんの状態に合わせた入浴機器を設置

季節を感じていただける食事やおやつ



## ▶ サービス内容

- (1) 入所：病状が安定し入院治療を要しない、要介護度1～5と認定された方に、看護・介護・リハビリテーション、食事、身の回りのお世話などのサービスを提供するとともに、利用者さん・ご家族との相談を行い、早期の在宅復帰を目指します。
- (2) ショートステイ（短期入所療養介護）：介護されるご家族の方の病気、介護疲れ、旅行等で一時的に介護ができなくなった場合、短期間入所できます。
- (3) デイケア：在宅療養の高齢者等の方に、昼間通所いただき（車による送迎を行います）、健康チェック、入浴、食事、リハビリテーション等を行い、心身機能の維持向上を図るとともに、ご家族の介護負担を軽減します。
- (4) 訪問リハビリ：在宅療養の高齢者等の方のご自宅にセラピストが訪問し、身体機能・在宅環境に合わせた適切なリハビリテーションを行い、心身機能の維持・向上を図ります。

※ (2) (3) 及び (4) は要支援と認定された方を含みます。



利用者さんそれぞれの状態に合わせたリハビリテーション



## 施設概要

開設年月日 平成12年4月19日  
所在地 神戸市北区しあわせの村1番19号  
電話 078-743-8500  
F A X 078-747-3738  
入所定員 90名（ショートステイを含む）  
通所定員 30名/日（年末年始を除く月～土）

# 訪問看護ステーション

在宅において療養生活を送っている方やその家族が、住み慣れたご自宅で安心して生活ができるよう、かかりつけ医と連携しながら看護師や理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が訪問します。病気の発症や重症化を防ぎ、病状や必要性に応じて24時間365日訪問いたします。

## しあわせ訪問看護ステーション

神戸市中央区吾妻通5-2-20  
☎ 078-242-5454

豊富な人材によるハイテクホームケアとよばれる訪問看護に積極的に取り組んでいます。また、必要なサービスをタイムリーに提供できるように心がけており、日頃からスキルアップを目指した研修を実施しています。

平成7年1月 開設

## 東灘しあわせ訪問看護ステーションくるる

神戸市東灘区魚崎中町4-3-18  
☎ 078-452-6772

愛称「くるる」は、患者さんの訴えを「聞く」「見る」「祐（助ける）」の三本柱から名づけました。ご家庭において、寝たきりの方や看護・リハビリテーションが必要な方を定期的に訪問し、ニーズと生活を大事にした温かいケア提供をいたします。

平成11年1月 開設

## 兵庫しあわせ訪問看護ステーション

神戸市兵庫区大開通1-1-1  
☎ 078-515-5252

兵庫区医師会をはじめ市内各区の病医院やサービス事業者と連携を取りながら、利用者の皆さんに支援助けの提供をしています。住み慣れた地域で、ご本人の望まれる暮らしができるよう支援させていただきます。

平成22年10月 開設

## 西部しあわせ訪問看護ステーション

神戸市垂水区星陵台4-4-37  
☎ 078-787-7201

看護の原点は在宅にあり、地域の方々が安心して療養生活を送れるよう、病気・年齢を問わず、かかりつけの医師と連携を取りながら訪問しています。明るい看護師や、リハビリの専門が皆さんに笑顔としあわせをお届けします。

平成12年1月 開設

### ▶ 業務内容

#### 健康状態の観察・相談

血圧、体温、呼吸、脈拍の測定、病状の観察と助言など

#### 日常生活の看護

清潔の援助(清拭、洗髪、足浴など)、排泄の介助、食事の介助など

#### 在宅リハビリテーション

家庭での訓練、介護指導(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の訓練含む)

#### 認知症・終末期の看護

精神的ケア、介護者への援助、生きがいのある生活づくりなど

#### 医療器具装着者の看護

家族への支援

### ▶ 対象者

市内居住者で、乳幼児から高齢者まですべての年齢においてかかりつけ医が訪問看護を必要と認めた、病気や心身の障害などで療養生活の支援などが必要な方や、終末期ケアを必要とされるすべての方が対象となります。



リハ研修の様子



研修風景

## えがおの窓口・あんしんすこやかセンター

えがおの窓口(居宅介護支援事業者)では、介護保険上の各種サービス提供が受けられるよう、利用者の依頼に基づき諸手続・相談に応じます。要介護者等の方が居宅において日常生活を営むために、必要な保険医療サービス・福祉サービスの適切な利用等を行うことができるよう、ケアプランを作成するとともに、居宅事業者等との連絡調整、その他便宜の提供を行うことを目的とします。

また、あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)では、介護予防を含め、高齢者または介護の必要な方が、身近にある医療・保健・福祉サービスを受けられるよう、各種相談に応じます。

### えがおの窓口 (居宅介護支援事業者)



#### ▶ 事業内容

- ・要介護認定の申請代行
- ・要介護認定のための更新認定調査  
(東灘・しあわせの村・兵庫)
- ・ケアプランの作成(あんしんすこやかセンターから依頼のあった介護予防をプラン含む)
- ・居宅サービス事業者等との連絡調整 など

### あんしんすこやかセンター (地域包括支援センター) ＜神戸市受託事業＞



#### ▶ 事業内容

- ・介護予防事業に関するケアマネジメント業務
- ・総合相談支援業務
- ・権利擁護業務
- ・包括的・継続的ケアマネジメント業務
- ・高齢者の見守り活動の支援
- ・総合支援事業 など

### しあわせ訪問看護ステーション

神戸市中央区吾妻通5-2-20  
電話 078-242-5454

### 魚崎南部あんしんすこやかセンター

神戸市東灘区魚崎中町4-3-18  
電話 078-452-6830

### 東灘ケアプランセンター(ほくら・くるる)

神戸市東灘区魚崎中町4-3-18  
電話 078-452-6960

### しあわせの村あんしんすこやかセンター

神戸市北区しあわせの村1番19号  
電話 078-743-8208

### しあわせの村在宅支援センター

神戸市北区しあわせの村1番19号  
電話 078-743-8512

### 新開地あんしんすこやかセンター

神戸市兵庫区大開通1-1-1  
電話 078-577-1445

### 西部しあわせ訪問看護ステーション

神戸市垂水区星陵台4-4-37  
電話 078-787-7565

### 兵庫しあわせケアプランセンター

神戸市兵庫区大開通1-1-1  
電話 078-577-1448



相談業務



介護予防啓発運動(地域との交流会)

## 認知症支援事業

### ☆認知症初期集中支援チーム(こうべオレンジチーム)

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、保健師・看護師・社会福祉士等がコーディネーター兼チーム員として、ご本人・ご家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援を行います。



チーム員会議風景

- ◆**対象となる方：** 認知症が疑われる方、または認知症の方で、医療・介護サービスを受けていない方・中断されている方。  
 医療・介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため、ご家族等が対応に苦慮している方など

40歳以上の  
在宅生活者

### チーム利用のメリット

- 🍊 短期間、集中的に細やかに関わることで、関係性が構築しやすくなります。
- 🍊 専門医や認知症サポート医、かかりつけ医との連携のもと、地域で生活していくための、医療的な視点での支援が出来ます。
- 🍊 医療機関(かかりつけ医や認知症疾患医療センター等)との連携・受診勧奨を行います。

### ☆認知症に関する総合電話相談窓口(こうべオレンジダイヤル)



TEL : **078-262-1717**

受付時間：月～金(土日祝、年末年始除く)  
9:00～17:00

在宅での認知症支援について経験のある看護師・社会福祉士等の専門職が電話受付をしています。  
 神戸市内の幅広い介護情報等の提供や、必要に応じて適切な機関への紹介・希望に応じた関係機関への取次ぎを行います。



電話での相談の様子

### 認知症に関する電話窓口では、こういった相談を受付しています

- 🍊 介護が大変!! 話を聞いてほしい…
- 🍊 認知症の方にどのように対応したらいいか悩んでいる…
- 🍊 家族の物忘れがひどくなった気がする…
- 🍊 神戸モデルなど神戸市の認知症施策を知りたい…
- 🍊 認知症の方の免許返納について、相談したい…





## 医療介護サポートセンター(在宅医療・介護連携支援センター)

2025年には団塊の世代が75歳以上となり、2040年には85歳以上の高齢者が100万人以上生活する社会となります。医療と介護の両方を必要とする高齢者も住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続けることができるように、地域包括ケアシステム構築が急務となっています。

この中で、「在宅医療介護連携推進事業」が「介護保険法の地域支援事業」に位置付けられ、平成30年度からすべての市町村で取り組むこととされました。

神戸市では、平成28年度から各区医師会に「医療介護サポートセンター」を置き運営を行うとともに、当財団が医療介護サポートセンターに配属するコーディネーターの確保、人材育成を担っています。

医療介護サポートセンターでは、医療と介護の知識に精通したコーディネーターが医療・介護関係者からの在宅医療に関する相談に応じるほか、多職種連携会議や在宅医療・介護に関する研修会の開催、在宅医療に関する市民啓発などを行っています。



医療介護サポートセンターの執務風景

## リハビリ専門職によるケアマネジメント支援事業

神戸市から委託を受けて、当財団のリハビリ専門職が、リハビリテーションの視点から要支援者等に自立を促進する助言や指導を行います。

具体的には、ケアプラン作成者と自宅に同行訪問を行います。そこで、リハビリ専門職が要支援者等の心身状況の把握や自宅の環境等の確認を行い、本人・家族に状態の改善や重症化防止に繋がる助言を行うとともに、ケアプラン作成者等に対しても自立を促進する助言や指導を行います。

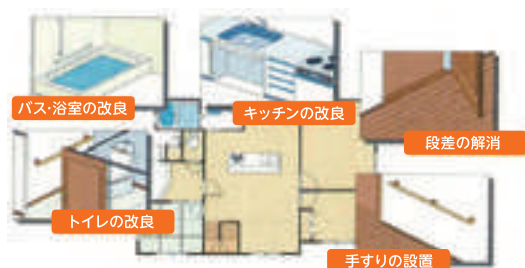
## 住宅改修助成事業

「神戸市住宅改修助成事業」では、神戸市から委託を受けて、助成申込の審査を行っています。介護保険の認定がある方もしくは身体障害者手帳がある方を対象として在宅生活に必要な段差解消や手すりなどの工事費用の一部に助成制度が利用できます。

▶お申し込み 介護認定のある方⇒お近くのあんしんすこやかセンター  
身体障害者手帳のある方⇒区役所のあんしんすこやか係

助成事業の申込みを受け、住まいの改良相談員「作業療法士」「建築士」「社会福祉士等」の3名でご自宅を訪問調査し、対象者の動作確認や家屋確認を行い身体状況に応じた助成工事の対象となる改修計画書を作成します。また、工事では解消できない案件についても福祉用具の活用も視野に入れて提案いたします。

住み慣れた自宅で安心、安全な生活ができるようにサポートします。



トイレ バリアフリー

▶お問い合わせ  
総務課福祉事業係  
電話 078-743-8323

# 写真で見る各事業所の行事・活動

## 神戸リハビリテーション病院



演奏会



職員研修会の様子



季節を感じる行事食



クリスマス会

## 介護老人保健施設 リハ・神戸



デイケア行事(脳ワクワク)



デイケア行事(オカリナ演奏)



療養科の夏祭り



療養科の運動会

## 地域の見守り活動支援事業



地域での音楽療法



地域での敬老お祝会



地域の方に車椅子の指導



地域ケア会議

## こうべ福祉・健康フェア (健康に対する関心と理解を深めていただくための市内最大のイベントに参加)



会場の様子



骨量・体組成測定



測定結果の説明



職員の皆さんお疲れ様

## 概 要

### 一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団

・設立の許可	昭和62年7月7日	基本財産	1億円
・設立の団体	一般社団法人 神戸市医師会	出捐比率	45%
	神戸市	同	35%
	公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会	同	20%

## 沿 革

- 昭和61年 9月 任意法人神戸在宅ケア研究所としてスタート
- 昭和62年 7月 財団法人神戸在宅ケア研究所設立(神戸市中央区加納町6丁目5番1号)
- 昭和63年 5月 法人の事務所を所在地へ移転
- 昭和63年 6月 神戸リハビリテーション病院オープン
- 昭和63年10月 在宅看護事業開始
- 平成元年 9月 保養センターひよどりオープン
- 平成 5年 4月 福祉機器総合ホールオープン
- 平成 6年 2月 神戸リハビリテーション病院MR棟完成
- 平成 6年 3月 福祉機器情報コーナーオープン
- 平成 6年 9月 住宅改修助成事業開始
- 平成 7年 1月 しあわせ訪問看護ステーション開設  
在宅ねたきり者訪問指導事業開始  
(在宅看護事業は終了)
- 平成 8年11月 老人健康センターオープン
- 平成11年 1月 東灘しあわせ訪問看護ステーションくるる開設  
東灘在宅介護支援センターほくら開設
- 平成11年10月 居宅介護支援事業所開設  
しあわせ訪問看護ステーション  
東灘ケアプランセンターほくら・くるる
- 平成11年11月 しあわせの村在宅介護支援センター開設
- 平成12年 1月 西部しあわせ訪問看護ステーション開設
- 平成12年 4月 介護保険制度スタート  
介護老人保健施設リハ・神戸オープン
- 平成12年 6月 居宅介護支援事業所開設  
西部しあわせ訪問看護ステーション開設  
神戸リハビリテーション病院総合支援相談室開設
- 平成14年 3月 福祉機器情報コーナー業務終了
- 平成15年 3月 介護支援訪問指導の受託事業終了  
保養センターひよどりの受託事業終了
- 平成18年 4月 地域包括支援センター(新・あんしんすこやかセンター)開設  
(在宅介護支援センターを改組)  
(東灘ほくらあんしんすこやかセンター、しあわせの村あんしんすこやかセンター)
- 平成22年10月 兵庫しあわせ訪問看護ステーション開設  
居宅介護支援事業所開設(兵庫しあわせケアプランセンター)  
地域包括支援センター開設(兵庫しあわせあんしんすこやかセンター)
- 平成24年 3月 福祉機器総合ホールの受託業務終了
- 平成24年 4月 東灘ほくらあんしんすこやかセンターを魚崎南部あんしんすこやかセンターへ、  
兵庫しあわせあんしんすこやかセンターを新開地あんしんすこやかセンターへ改称
- 平成25年 4月 法人格を一般財団法人へ移行
- 平成28年 4月 法人名を一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団に変更  
神戸市医師会とともに医療介護サポートセンター(在宅医療・介護連携支援センター)開設を受託
- 平成29年 8月 認知症初期集中支援事業を中央区で開始(30年3月までに全区で実施)
- 平成30年12月 老人健康センター閉所(指定管理契約終了)
- 平成31年 4月 「こうべオレンジダイヤル」を開設

## 施設位置のご案内



## しあわせの村 交通機関のご案内

### ■電車・バス利用の場合

- 三宮から市バス66系統 (しあわせの村行) 約30分
- JR神戸駅から 阪急バス150系統 (しあわせの村経由神鉄西鈴蘭台駅行) 約35分
- JR・地下鉄新長田駅から 市バス17系統 (しあわせの村行) 約45分
- 地下鉄名谷駅から 市バス120系統 (しあわせの村行) 約30分
- 神鉄西鈴蘭台駅から 阪急バス150系統 (しあわせの村経由JR神戸駅行) 約10分
- 神鉄谷上駅から 阪急バス158系統 (しあわせの村行) 約40分

### ■車利用の場合

- 三宮から山麓バイパス・市道夢野白川線経由 約25分
- 名谷から市道夢野白川線経由 約20分
- [大阪方面]  
中国道山口JC経由 阪神高速道路  
北神戸線しあわせの村ランプから 約5分
- [大阪方面] 阪神高速道路 生田川ICから 約25分
- [姫路方面]  
阪神高速道路北神戸線 しあわせの村ランプから 約5分
- [姫路方面] 第2神明道路 須磨ICから 約15分

## 一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団

〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番18号

TEL 078-743-8200 FAX 078-743-8211

ホームページ <http://www.kzc.jp>